

委員からの事前意見取りまとめ表  
(中期目標期間実績評価)



評価単位		意見	委員
第1-1(1)A	地域に対応した多様な森林管理技術の開発	低コスト再造林の手法が実用化にまでつながった。また、成長予測モデルも広く活用されている。森林モニタリングデータのさらなる活用が望まれる。	酒井
		中期計画は達成できておりB判定は妥当であろう。社会とのニーズに直結した課題であり、経済的な側面からも実務的にも研究を進めていただきたい。	中山
第1-1(1)B	国産材の安定供給のための新たな素材生産技術及び林業経営システムの開発	防護服導入による安全性向上に寄与した。日本の自然条件、経営条件にあわせたさらなる合理的作業システムの追及が望まれる。	酒井
		中期計画は達成できておりB判定は妥当である。低コストでの安全でスピード感のある国産材供給は今後の林業経営に必須である。継続的に研究を進めていただきたい。	中山
第1-1(2)C	木材の需要拡大に向けた利用促進に係る技術の開発	CLTや型枠合板等の関連規格化に貢献し、国産材自給率の向上に寄与し、A評価は妥当といえる。	酒井
		CLTの開発とJAS規格制定への貢献だけでも A判定であろう。	中山
第1-1(2)D	新規需要の獲得に向けた木質バイオマスの総合利用技術の開発	社会的な実装につながる成果をあげた。	酒井
		WPCなど研究成果は目覚ましいものであった。A判定は妥当である。	中山
第1-1(3)E	森林への温暖化影響評価の高度化と適応及び緩和技術の開発	温暖化による森林土壌からの温室効果ガスの放出増大を予測し、REDDプラスの刊行物は国際的にも貢献した。	酒井
		地球温暖化防止に向けて、期間における本課題の研究は着実に精緻化を実現し、REDDプラスの国際的な議論や制度構築、また行政支援に多大な役割を果たすなど顕著な成果を創出したことから、A評価が相当と考える。	田村
		多くの研究成果だけでなく、国際貢献も多大で、A判定は妥当である。	中山

評価単位		意見	委員
第1-1(3)F	気候変動に対応した水資源保全と山地災害防止技術の開発	福島第一原発事故の放射性物質の挙動解明に貢献した。	酒井
		森林の放射能汚染や海岸防災林の評価など、中期計画策定時には想定していなかった研究も含めて成果を上げている。が、5年のうち最初2年の評価がAであと3年がB まとめてAをつけていいのか？	中山
第1-1(3)G	森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発	シカの被害対策に一定の成果を示した。	酒井
		シカ対策、なら枯れ対策、スギ花粉対策など多くの問題に対して有効な解決策を提案で来ており A判定は妥当であろう。	中山
第1-1(4)H	高速育種等による林木の新品種の開発	海岸マツ林の整備に貢献し、育種高速化の水準を引き上げた。	酒井
		エリートツリーの開発が順調に進んでいることなど評価できる。ただ、論文数も多くななく項目ごとの評価がBできているのに まとめてAでいいのか？	中山
第1-1(4)I	森林遺伝資源を活用した生物機能の解明と利用技術の開発	着実に成果を積み上げてきている。	酒井
		当初計画になかった放射能対応(キノコ関連)も含めて、中期計画の目標以上の進展があったと思われるので A判定は妥当である。	中山
第1-1(5)	研究基盤となる情報の収集・整備・活用の推進	自然条件が多様な各試験地において、データの収集をはかってきた。木材データベースも活用されている。	酒井
		中期計画は達成できておりB判定は妥当である。	中山

評価単位		意見	委員
第1-1(6)	林木等の遺伝資源の収集、保存及び配布並びに種苗等の生産及び配布	基本的に重要な業務を着実に遂行してきた。	酒井
		中期計画は達成できておりB判定は妥当である。	中山
第1-2(1)	被保険者の利便性の確保	民間保険会社からの人材の確保など業務実施体制の整備が図られており、評価は妥当と思われます。	文野
第1-2(2)	加入促進	中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第1-2(3)	金融業務の特性を踏まえた財務の健全性及び適正な業務運営の確保のための内部ガバナンスの高度化	充実が図られている。	酒井
		年度計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われますが、法人が今後の課題としてあげているディスクロージャーの更なる充実に努めていただきたい。	文野
第1-2(4)	研究開発との連携		
第1-3(1)ア	事業の重点化の推進	今後は衛星情報なども活用して、積極的な展開を期待しています。	徳地
第1-3(1)イ	事業の実施手法の高度化のための措置	高度化に向けて、新しい技術の導入に取り組んできている。	酒井
		チェックシート、研究開発との連携もきちんと行われていると思います。	徳地

評価単位		意見	委員
第1-3(1)ウ	事業内容等の広報推進	見える化が図られてきている。	酒井
		広報的なものだけでなく、例えば林業技術などにも広報できないでしょうか。	徳地
第1-3(1)エ	事業実施コストの構造改善	今後も設定(15%?)については慎重に検討してください。	徳地
第1-3(2)ア	計画的で的確な事業の実施 (特中・農用地)	地方の人口減の趨勢の中、引き続き完了後の評価に係る業務は重要である。	酒井
		「豪雨災害等による被災に対して適切に復旧し事業を完了させた事例があり、また、災害発生時の集落の安全確保等に事業が貢献するという効果がみられたことは高く評価できる。」というような文章を加えることはできないでしょうか？	小島
第1-3(2)イ	事業の実施手法の高度化のための措置(特中・農用地)		
第1-3(2)ウ	事業実施コストの構造改善 (特中・農用地)	今後も設定(15%?)については慎重に検討してください。	徳地
第1-3(3)	廃止・完了後の事業に係る 債権債務管理、その他の債 権債務及び緑資源幹線林道 の保全管理業務の実施	着実に業務が行われていると思います。	徳地

評価単位		意見	委員
第1-4	行政機関、他の研究機関等との連携及び産学官連携・協力の強化	積極的に対応してきた。	酒井
		本項目については、自然災害、地球温暖化対策、森林・林業政策への対応等において、国立研究開発法人として優れた貢献を行っていますし、東日本大震災、原子力発電所事故への対応に関しては特に優れた貢献をしていますので、期間評価ではA評価に値するのではないかと思います。	小島
		緊急対応からCLTのJAS化まで、社会とのつながりを強く持っており、目標は達成されている。	中山
第1-5	成果の公表及び普及の促進	研究成果選集は一般の方にもわかりやすくまとめられている。論文数も一人1報以上を何とかクリアしており、計画に沿った取り組みが実施されているといえる。	中山
第1-6	専門分野を活かしたその他の社会貢献	本項目については、森林・林業・木材産業に関する日本の中核的研究機関として、国際学術交流・国際協力等において優れた貢献を行っていますし、日本森林学会、日本木材学会等の国内の関連学会の運営に職員が大きな役割を果たしている等、特に優れた貢献をしていますので、期間評価ではA評価に値するのではないかと思います。	小島
		専門分野を生かして、国内外に広く社会貢献していることから、目標は達成したと判断できる。	中山
第2-1	効率化目標の設定等	計画を着実に達成している。	酒井
		水源林造成事業の事業費に関して目標数値を達成できていないが、事業費については削減と効率化とは必ずしも一致しないこと、政府全体の予算配分による影響を受けたことなどを考慮すれば、評価は妥当と思われる。	文野
第2-2	資源の効率的利用及び充実・高度化	中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われる。	文野

評価単位		意見	委員
第2-3	契約の点検・見直し	監査機能の強化が図られてきた。	酒井
		中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われま	文野
第2-4	内部統制の充実・強化	事案の発生は遺憾であるが、適正な措置をとりながら、内部統制の強化、管理体制が整備されてきた。構成員は絶えず流動している	酒井
		ので、引き続き定着化が必要である。	
		期間内に法令違反等問題が相次いで発覚したことから、C評価が相当と考える。講じられた再発防止策の点検を行うなど気を緩めることなく対応していただきたい	田村
		事故後、セキュリティなどへの意識向上に取り組まれている。	徳地
		中期計画に沿った取組は実施されているが、結果として不適正経理等の問題が生じたことから、取組の内容ないしは実施方法の検証が必要であり、「C」評価は妥当と思われま	文野
第2-5	効率的・効果的な評価の実施及び活用	戦略的な取り組みが図られている。	酒井
		中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われま	文野
第3-1(1)	業務の効率化を反映した予算の作成及び運営	中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われま	文野
第3-1(2)	自己収入の拡大に向けた取組	競争的資金の獲得は年を追うごとに難しくなっていると思われるが、戦略的、効率的に獲得に努めていく必要がある。	酒井
		中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われま	文野



評価単位		意見	委員
第3-2(1)	保険料率及び積立金の妥当性の検討	中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第3-2(2)	保険料収入の増加に向けた取組	保険料収入自体は減少しているものの、保険加入に向けた積極的な取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第3-3(1)	長伐期借入金等の着実な償還	着実な償還がなされていると思います。	徳地
		中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第3-3(2)	業務の効率化を反映した予算の作成及び運営	効率化により、経費削減が着実に図られてきた。	酒井
		人件費の削減などについては慎重に行ってください。	徳地
		中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第4-3	短期借入金(水源林造成事業等)	中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第5	不要財産の処分及び不要財産以外の重要な財産の譲渡に関する計画	中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野

評価単位		意見	委員
第7-1	施設及び設備に関する計画	計画的に整備されてきた。	酒井
		震災改修など予定通りいかないことも多いと思いますが、将来を見越して実施してください。	徳地
		中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第7-2	人員に関する計画	効果的な組織改編、人材確保に努めてきた。	酒井
		中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第7-3	環境対策・安全管理の推進	中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第7-4	情報の公開と保護	中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野
第7-5	積立金の処分	中期計画に沿った取組が実施されており、評価は妥当と思われます。	文野